

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年3月26日	記入者		連絡先	5635	
平成18年度部名	保健所	課名	保健予防課	課長名	原修	
平成19年度部名	保健所	課名	保健予防課	課長名	江森静子	
事務事業名	結核対策特別促進事業					
予算上の事務事業名	結核対策特別促進事業					
1 総合計画における位置づけ				施策コード	12220	
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第2章 生涯にわたる健康づくりを進めます					
基本施策名	第2節 市民健康づくりの推進					
施策名	第2施策 保健サービスの充実					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	結核予防法第2条及び第4条(平成18年度まで)、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第3条及び第53条の2(平成19年度から)					
3 個別計画の概要	概要					
計画名	さがみはら健康プラン21			個人、家庭、地域社会が一体となった生涯にわたる健康づくりを推進するための施策等について計画するもの。		
計画年次	14	年度～	22	年度		
4 事業形態の区分	研修・講座			5 事業開始年度	平成12年度	
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					
結核対策の一層の充実を図るため、結核医療従事者研修会等の研修事業や外国籍市民結核健康診断を実施する。				(2) 対象(誰、何)		
				結核医療に従事する者、外国籍市民		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
1. 結核医療従事者研修会 平成19年1月25日開催、参加者34名 2. 結核診査協議会委員等公開研修会(県、横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、藤沢市との合同開催) 平成19年2月1日開催、本市出席者8名 3. 外国籍市民結核健康診断 平成18年9月30日実施、受診者17名(8か国)						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	県内各都市において実施しているが、実施方法や規模については、各都市によって異なっている。					
8 事業費の推移	[単位:千円]					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	340	129	127	152	152	
一般財源	220	129	127	152	152	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	120	0	0	0	0	
人件費の合計	2,343	2,343	2,343	2,343	2,343	
事業コスト合計	2,683	2,472	2,470	2,495	2,495	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	結核医療従事者研修会			対象名称 と単位	医師、看護師等結核医療従事者(人)	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	1,036	1,036	1,036	1,036	1,036	
対象数	77	32	34	50	50	
単位あたり経費(円)	13,455	32,375	30,471	20,720	20,720	
前年度比		2.41	0.94	0.68	1.00	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	目標参加人数の達成率（％）	指標式と指標の説明	研修会参加者数（人） / 参加目標人数（50人） * 100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	154.0	64.0	68.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（％）	154.0	64.0	68.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	アンケート結果による満足度（％）	指標式と指標の説明	アンケート結果において、非常によかった又はよかったと回答した人数 / 研修会参加者数 * 100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	90.0	94.0	91.0		
目標	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
目標達成度（％）	100.0	104.4	101.1		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
A	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業				
	[] : 概ね良好な状況である事業				
	[] : 見直しを行う必要がある事業				
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		医師等の資質向上のため、医療従事者研修会は、有効であり、言葉の障壁から健康診断を受ける機会の少ない外国籍市民に対する結核健康診断は、結核のまん延防止のため必要な事業である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
研修会参加者を増やす工夫について、市医師会等と協議していきたい。			結核患者数は、年々減少しているため、逆に医師の臨床経験が不足し、患者の発見や治療が遅れるケースが出ている。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			